報道してもらえない。また、23狭山ビラ統一行動のティッシュは好評。

**清水千秋・代議員（杭ノ瀬）**

女性の抱えている要求や課題は、生活に密着しており、女性部の組織化は重要な課題。また、DVやストーカーなど、多様化する犯罪を未然に防ぐために学習会が必要。DVの相談窓口を設置する予定があるのか。

**松井康臣・代議員（岩橋）**

狭山市民集会に参加しても、以前と違って盛り上がりにかけている。デモ行進のときもダラダラ歩いているだけで、石川さんの再審を実現させていくためにみんなで声を上げてはどうだろうか。

産業振興と雇用について、企業連の会員からもっと雇用創出させてはどうか。

**山本敏明・代議員（芦原）**

狭山・DVなど、その元となる部落問題の学習をしっかりしてほしい。そこからリーダーが育つ。当時は差別事件が起こると若い活動家が集まり、徹夜で糾弾要綱を作った。若い人が活躍できる場を考えてほしい。

## 全体討論

**更家純・代議員（新宮）**

続発する差別事件の背景や分析の機会がない。

仕事保障について、就業形態が不安定で、無年金や少額年金問題など、厳しい暮らしを送る人が大半。

青年は仕事がなく、県外に出てしまう。女性は母子家庭が多く、非正規雇用や病児保育など、問題は多い。次世代を担う子どもを育てるには安定した就労が必要不可欠。狭山事件から部落問題を学んだので、狭山現調・学習会を計画してほしい。再建40年をむかえ、活動家の話を聞く機会が減った。先輩方の若かりし頃の話を聞き、学びたい。

**竹井一人・代議員（湯浅）**

和太鼓「心音」として伝統文化の創造に努める。

青年部活動について、狭山現調へ行きたいという頼もしい声がきこえる。そういった青年のために仕事・住宅保障を。

「子ども・子育て支援事業計画」について、新施策「解放保育の精神」が盛り込まれるか心配。

来春おこなわれる湯浅町議会選挙についてのお願い。

組織内候補・石本一也をよろしくお願いする。

**飯田勝・代議員（古和田）**

西光万吉の自宅を親族から買い取りをした。個人所有というわけにはいかないので「偲ぶ会」を団体にして保存したい。家の隣にある倉庫を作り変えて保存したい。西光を知ってもらうために、募金をつのりたい。行政には、資料館を要求している。

第59回県連大会は、236人の代議員が結集し、昨年の経過報告・2014年度活動方針・予算、スローガンが可決され、成功裡に大会を終えることができた。これも、ひとえに代議員の協力によってなしえたことと感謝申し上げる。

## 主張

# 第59回県連大会を終えて

さて、大会をふりかえると、25人の代議員から発言・討論があり、執行部の答弁とつづくわけだが、発言内容が女性差別、狭山事件、若年層の就労問題など、多岐にわたる課題が提起された。

また、運動部体制も中央本部の改編にともない「人権政策運動部」「教育文化運動部」「生活福祉運動部」「労働政策運動部」「住環境運動部」「農林漁業運動部」「企業・産業振興運動部」と再編し、59期がスタートした。秋には対和歌山市交渉はじめ各市町村交渉、対和歌山県交渉を予定している。

部落解放運動の拠点は、支部であり、支部に結集する部落大衆である。運動方針にも記されているが、部落大衆への「相談活動」「世話役活動」を基本に、大衆の要求を組織し、闘いを構築することで、私たちの運動は大きく前進する。しかし、近年では特定の支部から要求が組織されず、交渉が成立しないという状況もある。ここ数年、部落でも少子・高齢化がすすみ、また経済状況の不況の影響をうけ、支部員の減少がみられる。これらの状況を打破するためにも、より一層の組織点検と要求の吸い上げが必要だ。

第19回県連再建大会から40年、先人たちが担ってきた歴史と伝統を再確認し、「人権」「平和」「環境」と社会連帯を基軸に、「よき日」の実現にむけて、部落解放運動を前進させよう。

# 部落解放湯浅町共闘会議

## 第36回定期総会

部落解放湯浅町共闘会議第36回定期総会が、5月26日、湯浅町総合センターでひらかれ、湯浅支部をはじめ、町社会福祉協議会や県職労・JP労組など各加盟団体から約80人が参加した。

阪井達夫・湯浅町共闘会議議長の開会あいさつのあと、来賓からは本年度和歌山県共闘会議の新議長に就任した杉谷雅史さん（NTT労組）、宮本修作・県連書記次長、石塚和夫・有田振興局長のあいさつがあり、湯浅町長、湯浅町議会議長からのメッセージが代読された。

「すべての地域、職場を拠点に解放共闘の組織と活動の強化を図り、部落解放共闘の運動を確立させよう」をスローガンに掲げたうえで、①人権侵害への救済制度を確立するため「人権侵害救済法」制定に向けたとりくみをすすめる。②「狭山事件を考える湯浅住民の会」を中心に、現地調査、中央集会、要請行動などに積極的に参加し、地域が一丸となって再審闘争勝利にむけたとりくみをすすめる。③「悪質化・陰湿化」してきているさまざまな差別事件への具体的な背景と原因・課題をあきらかにし、湯浅支部とともに厳しく対処し、差別事件撤廃にむけ積極的にとりくむ。また「本人通知制度」登録促進への啓発活動をおこなう。④「部落解放第42回湯浅町研究集会」を湯浅支部と人権施策確立要求湯浅町実行委員会とともに共催し、より多くの地域住民と課題を共有し、連けいを密にしながら地域共闘発展をめざす。以上の運動方針を樹立し本総会を終了した。

## 各支部で大会ひらく

●**新宮支部**定期大会が5月26日、下田隣保館でひらかれた、役員はつぎのとおり。

支部長　中上　和年

●**鳴神支部**定期大会が5月30日、鳴神児童館でひらかれた、役員はつぎのとおり。

支部長　辻川　哲史

●**笠田東支部**定期大会が5月30日、笠田東児童館でひらかれた、役員はつぎのとおり。

支部長　藤井　静雄

●**善明寺支部**定期大会が5月31日、女性部定期大会と合同で善明寺文化会館でひらかれた、役員はつぎのとおり。

支部長　中辻　繁樹
女性部長　山本はつ美

●**串本支部**定期大会が5月31日、前地コミュニティセンターでひらかれた、役員はつぎのとおり。

支部長　平野　義博

●**田辺支部**定期大会が6月14日、西部センターでひらかれた。役員はつぎのとおり。

支部長　大西　重美

**【女性部】**

●**笠田東支部**女性部定期大会が6月19日、笠田東児童館でひらかれた。役員はつぎのとおり。

女性部長　辻岡　典子

## 文化の窓

コミックエッセイ

### 「新ニッポンの父ちゃん」

～兼業主婦ですが、なにか？～

作：杉山錠士　絵：アベナオミ

主婦の友インフォス情報社／2014年5月20日発行

兼業主夫のジョーくんと服飾デザイナーの妻、あやこ。「普通」でない毎日から繰り広げられるハプニングとジェネレーションギャップ。ひとつではない家族のあり方を、放送作家のジョーくんが奮闘記として記した一冊。この一冊は「兼業主婦があたり前」という社会の風潮が存在することを証明している。

◆お問い合わせは県連・教宣部まで
TEL 073－473－2301